

案件名称	神川町立小学校適正規模・適正配置に係る基本方針（案）
意見募集期間	令和5年1月20日（金）から令和5年2月20日（月）まで
意見提出者	町内に住所を有する者
意見提出件数	12件
修正等の対応	P7「(3) 住民説明会・パブリックコメント等を踏まえて」を追加しました。

	提出された意見内容	実施機関等の考え方
1	統合により、経費は削減できるとのことでした。先生の数もクラス数減少により減らすことが出来る一方、クラスの児童数は増えるため負担は増えると思います。その場合、町としての追加の予算的支援、先生追加配置はあるのですか。1クラスあたりの児童数を少なくするなどの検討があっても良いと思います。	統合した場合の教員の負担等については、まず教職員の意見等を聞き、その状況に応じて人事配置等を行いたいと考えています。また、教職員に過度の負担とならないよう配慮する必要があると考えています。
2	4校を統合し、新設するのであれば子どもや先生にとって素敵な学校環境を目指して欲しいです。新設と同時に子どもたちが自分のペースで学びを進めるフリースクールの設置も検討してください。	新設校については、検討委員会などを設置し、魅力ある学校の建設を目指していきたいと考えています。また、フリースクールについては民間施設との調整も考えなければならず慎重に対応する必要があると考えています。
3	① 4か所での説明会について、インターネットで出席者数、質疑応答など議事録を公開してほしい。パブリックコメントも公開してください。 ② 少人数であると人間力や社会性を高めることが難しいと説明がありましたが、学校長や教頭からは、いい教育はできると聞いた。基本方針(3)複式学級早期解消は、統合理由にならないと考えますが、改めてご回答をお願いしたいです。	① 4か所での説明会については、出席者数、質疑応答など町のホームページで公開していきます。パブリックコメントも公開します。 ② 様々な考えがあり、小規模校を残すという考え方もあってよいと思いますが、変化の激しい未来に向けて子どもたちに必要な力を身につけさせることが重要だと考えています。自分で意見を持ちながら、周りの仲間と意見を交換して、様々な意見をすり合わせながらより良い考えを生み出すことなどが求められています。そうした協働学習による学びの効果は検証されており、それを実現するためには、どうしても一定の人数が必要となります。できるだけ早くそうした教育環境を実現してあげたいと考えています。実際に神川町の小学

	<p>③ 複式学級にすると、県からの教員が減るということは、それで運営しなさいということではないのでしょうか。複式学級で教員1名で良いのではないですか。</p> <p>また、教員の確保が難しいということは、教員という職業が魅力的ではないということです。町独自の教員の在り方、働き方など、町独自で改革することをしないとダメです。それがいい環境だったら、きっといろんなところからなり手がやってくるのではないのでしょうか。</p> <p>④ 移住者の望む教育環境は神泉地区にあります。豊かな自然環境、少人数。有機無農薬栽培の畑。神川町に移住するなら、まさにこの地域です。そこで、神泉小学校を分校として残せませんか。また、2～5年で複式学級を解消し、2校に合併するということですが、他地域が合併に賛成であるなら、神泉小学校を残すことはできないですか。</p>	<p>生の学力は向上し、子どもたちからも、こうした協働学習が楽しく、学び合うことに満足感を感じていると聞いています。こうした、子どもたちがこれからの社会を生き抜いていく力を身につけさせることも、町や教育委員会の責任であると考えています。</p> <p>③ 学校の授業時数には定めがあり、年間でその時間内でその学年の教育課程を終了しなければなりません。完全に複式学級となると、教師が一人で2学年の授業を進めなければならないため、授業の進み方がどうしても遅くなってしまいう傾向にあります。図工等の教科によっては一緒にやることも可能かと思いますが、国語、算数などの5教科等は難しくなります。教員についても授業を進めるうえで、複式ではなく本来の1学年の授業を受け持つ方が、教える授業の範囲もその学年のカリキュラムに限定することができ、充実した授業を行うことができると思います。</p> <p>④ ご意見のとおり、神泉地区は豊かな自然環境があり、移住する場所として魅力のある地域だと思います。ですが、子供たちの教育を考えたときに、将来の成長を見据え、これからの社会に対応できるような教育を子どもたちに提供してあげることが重要であると考えています。そのため早期に複式学級を解消することを方針として掲げ、児童数の多い学校への統合を目指します。</p>
4	<p>複式学級で先生方の目が良く届き、子ども一人一人の得意不得意を把握しやすいというメリットは感じているがデメリットの方が多く感じる。</p> <p>①授業で意見を述べるというより雑談のような雰囲気がある。おとなしい子は発言機会が少ないまま授業が進む。</p> <p>②人間関係が固定している為、逃げ場がない。</p> <p>③林間学校など宿泊を伴う学校行事で夜は1人部屋になることもある。</p> <p>④転校してしまう子どもがいるクラスではクラスに同性がいなくなる場合もあり、ストレスを感じ</p>	<p>いただいたご意見を参考に、早期(2～5年以内)に複式学級の解消に努めたいと考えています。</p>

	<p>る。</p> <p>⑤通学班の班長が高学年ではない。</p> <p>⑥PTA の負担がかなり大きい。</p> <p>以上の事からも早急に小学校統合を希望します。</p>	
5	<p>今の学習指導要領の範囲内で町独自の魅力ある教育を模索していくことをお願いしたい。</p>	<p>学習指導要領で求められている「主体的で対話的で深い学び」を一層推進したいと考えています。生徒がタブレットなどを使い自分で調べ、グループの仲間と相談し、意見を出し合いながら学ぶユニット学習を、今後も研究し、更に充実させて、魅力ある教育の実現に向けて努めていきたいと考えています。</p>
6	<p>子どもたちと保護者が希望を持てるような、こんな小学校がある町ならば、移住したい、戻ってきたい、この町で子育てをしたいと思えるような提案を、地域住民を巻き込む形で議論し直してほしいです。</p> <p>&lt;提案&gt;</p> <p>それぞれの学校(多人数の良さ、少人数の良さ、地域の特色など置かれている環境を生かして)ごとの違いを明確に打ち出して、町全体で子どもたち保護者が学校を選択できる体制を作る。</p> <p>選択の機会は入学前はもちろん年度途中の転校も可能とするのが良いと思います。</p> <p>小さい町ならではの、特徴ある学校運営を現在の4校で、現体制のまま、またはやる気のある校長を民間含めて投入する等の可能性も含めて、可能な限り采配を任せる形で試みるのはどうか。</p> <p>それにしても、少人数にも限界があると思いますので、例えば神泉小は現在の人数を最低ラインとして、2～5年後に人数が増える見込みがない(町内他校区から神泉小を選択して入学する子どもが増えなかった)場合には廃校としたらどうか。(「子どもに選ばれなかった」ということは廃校に反対する住民にとっては決定的で納得せざるを得ない事態かと思います。)</p> <p>説明会でも4校の校区を超えて小学校を選択</p>	<p>町では令和2年から小学校の適正規模等について検討委員会で検討がなされ、その答申を受けて町としての方針案を今回策定いたしました。この方針の大きな目的が、変化の激しい未来に向けて子供たちに必要な力を身につけさせることです。自分で意見を持ちながら、周りの仲間と意見を交換して、タブレットなども使用して、すり合わせながらより良い考えを出すことなどが求められています。そうした協働学習による学びの効果は検証されており、それを実現するためには、どうしても人数が必要となります。丹荘小学校の子どもたちからも、こうした協働学習が楽しく、学び合うことに満足感を感じていると聞いています。そのため、少人数クラスの子供達に、できるだけ早くそれを実現してあげたいと考えています。「2～5年以内に複式学級の解消を目指す」としております。また、子どもたちがこれからの社会を生き抜いていく力を身につけさせることも、町や教育委員会の責任であると感じています。神川中学校でも、特色のある教育として、企業等と連携し、商品開発をするなど新しい取り組みなども行っています。今後も教員の育成に加え、外部の力なども借りながら、子供たちの将来に目線を置いた教育を研究し、推進していきたいと考えています。</p>

	<p>できるようにできないか?という質問があったかと思いますが、答えがなかったと思います。</p> <p>&lt;新たな質問&gt;</p> <p>小学校6年生が学力検査で県内1位になったとのことでしたが、神川中学は平均を下回ると聞きます。</p> <p>小学校でやるべきこと(テストで高得点を取る力ではなく自ら学ぶ力の元となるような感覚教育、国語力、たくましい心を育てること)をしていないから中学で行き詰まるのではないか、という懸念がありますがどうですか。</p> <p>&lt;最後に&gt;</p> <p>10年後に一校に統合するのはしかたないとしても、この町でしかできない特色ある魅力ある学校、またこれからの世界を幸せに生きる力を育む教育を本気で作らなければ、公教育は終わると思います。ユニット学習も素晴らしいですが、たった一人であっても学びのスイッチが入れば人は学ぶと思います。その仕組みがなければできないのではなく、みんなと同じでなければいけないこともなく、どんな状況でも臨機応変に工夫して取り組むことが生きる力だと思います。</p>	
7	<p>人づくりは目先の課題から50年先の教育と思います。児玉郡本庄市の合併もあるでしょう。統合して50年後には今の児童生徒が評価されます。より良い教育環境を整備することに賛同します。</p>	<p>子供たちが将来に向け必要な力を身につけることができるよう、より良い教育環境の整備に努めていきたいと考えています</p>
8	<p>5年後までに複式を解消するための4校を2校にして10年後に1校にする計画ですが、5年後に一斉統合して1校にすべきと考えます。このほうが経費も少なく、計画を進めやすくなると思います。</p> <p>また、スクールバスについては、低学年が4kmを徒歩通学するのは困難です。実情にあった距離以上はスクールバスを運行すべきと思います。</p>	<p>町として、小中一貫校について、検討委員会などを立ち上げて検討していく必要があると考えています。そうした中で、統合の時期や通学方法等について具体的な検討を行っていきたいと考えています。</p>
9	<p>①2年から5年での複式の解消とありますが、具体的にはどのようなことでしょうか。書かれた</p>	<p>① 複式学級の解消にあたり、渡瀬小学校と神泉小学校を、青柳小学校と統合することを考え</p>

	<p>内容でははっきりしない表現でわからない。</p> <p>②統合の前には学区を広げる、または、小学校を選べるということができないでしょうか。</p>	<p>ています。</p> <p>② また、早期にこの複式学級の解消を目指しているため、今の段階で学区を広げる、小学校を選択できるようにするということは考えておりませんが、再度検討します。</p>
10	<p>複式学級は解消してよいとは思いますが、少人数規模の学校が町内にあり、通学区域を越えて学校を選択できるようにしていくことを目指すのはどうか？学校間での特色を打ち出して教育や学校環境の質を切磋琢磨することにつながるのではないか。</p>	<p>小規模校を残すという考え方もあってよいと思いますが、変化の激しい未来に向けて子どもたちに必要な力を身につけさせることが重要だと考えています。自分で意見を持ちながら、周りの仲間と意見を交換して、様々な意見をすり合わせながらより良い考えを生み出すことなどが求めています。そうした協働学習による学びの効果は検証されており、それを実現するためには、どうしても一定の人数が必要となります。できるだけ早くそうした教育環境を実現してあげたいと考えています。実際に町内の小学校でも学力が向上し、子どもたちからも、こうした協働学習が楽しく、学び合うことに満足感を感じていると聞いています。こうした、子どもたちがこれからの社会を生き抜いていく力を身につけさせることも、町や教育委員会の責任であると感じています。また、通学区域をなくし、学校を選択できるようにした場合には、スクールバス等の運行は難しいため、保護者が送迎することが必要となり、負担が増すことになると思われます。</p>
11	<p>「神川町立小学校適正規模・適正配置に係る基本方針(案)」の撤回または延期を希望します。</p> <p>①計画案が練られていない</p> <p>②新学校の計画が不十分</p>	<p>①今回の「神川町立小学校適正規模・適正配置に係る基本方針(案)」はこれから町が進めていく小学校の適正規模・適正配置の基本的な方向を示すものであり、具体的な校舎の建設内容や廃校の利用、スクールバスの運行方法等については今後検討していくこととなります。</p> <p>②学校の方向に合わない生徒の対応とのことですが、現在も家庭こども相談員の設置など個々の状況に応じた対応は行っており、統合により経費が節減できれば、その経費で新た</p>

	<p>③新学校の理念に疑問を感じる</p> <p>④小学校廃合による神泉地域のコミュニティ弱体化の予測と対応が無い</p>	<p>に先生以外の力を借りた事業(理学療法士と保健師での巡回相談や発達障害の専門家との巡回相談など)も展開できると考えています。具体的な方法については、今後検討委員会などを立ち上げて検討していきます。</p> <p>③新しい学校の理念とのことですが、この方針は、小学校の適正規模・適正配置の基本的な方向を示すものであり、具体的な新しい学校の理念等は、学校のカリキュラム等に併せてこれから具体的に検討していくことになります。</p> <p>④小学校が地域のコミュニティにとって重要であることは十分認識しています。災害時の避難所や地域の社会体育の施設として利用もされており、こうした現状も考慮しながら、計画を進めていきたいと考えています。</p>
12	<p>神泉小学校ならではの良さがあります。他校で馴染めなかった子どもも登校できています。神泉小学校は残し、子ども主体の多様性のある学校にしたほうが良いと思う。</p>	<p>現在も家庭子ども相談員の設置など個々の児童の状況に応じた対応は行っています。また、具体的な検討はこれからになりますが、個々の児童に合わせた相談体制や、発達障害などの専門家との巡回相談なども考えていきたいと思えます。そうした中で一人ひとりの子どもたちに寄り添った教育を進めていきたいと考えています。</p>